

(1) 校内研修

- ①学校総体（チーム）として、学力向上に努める。
- ②全ての学年、学級、児童の学力向上に努める。
- ③教師が学びの主体となる校内研修の充実に努める。

(2) 学力向上のために

学校総体で取り組む力（チーム力）を向上させ、最大限発揮する。

⇒①ビジョン（目標）の共有

②ビジョン達成のための方策の共有

③共通実践を確実に実施する

(3) 目指す児童の姿

- 可能性に挑戦することができる。（じりつ）
- いつも考え工夫することができる。（そうぞう）
- 友だちとかかわることができる。（きょうどう）
- うまく表現することができる。（ひょうげん）

(4) 研究主題、研究の仮説

研究主題	
主体的に生き生きと学び、互いに高め合う児童の育成 ～少人数・複式学級のよさを生かして～	
仮説 1	仮説 2
学習に見通しを持たせる少人数・複式学級での指導を行えば、児童が主体的に生き生きと学ぶことができるであろう。	自分の考えを言葉で表現し、他者と伝え合う言語活動の場を工夫すれば、児童が互いを高め合うことができるであろう。
視点①リーダー（ガイド）学習の充実 視点②指導と評価の一体化	視点①学び合いの充実 視点②「伝え合う場」の設定と工夫

(5) 研究の組織図

